

ゆーとぴや  
**湯戸飛夜いけいけだよ**

2012年7月1日 第18号



Jinen Joe family

**発行 西徳山まちづくりの会**

記事:

- ・平成24年度定期総会を開催！
- ・シリーズ「地元の達人」「郷土史の達人」山下恒夫さん
- ・平成24年度活動計画…素晴らしい西徳山を目指して！！
- ・戸田駅を拠点にしたウォーキング「第3回てくてくウォーク」に参加して
- ・お知らせ

**会員募集中**

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時会員を募集しています。

連絡先：  
(0834) 63-3770  
(神本)まで

## 平成24年度定期総会を開催！

平成24年4月14日(土)午後3時から、“とれたて市場”「ゆーとぴや」前のいけいけ広場で、西徳山まちづくりの会の平成24年度定期総会が地元市会議員、連合自治会長、市役所担当課の皆さんなどを来賓に迎え、盛大に開催されました。

総会では、下記の今年度活動方針と活動計画を決定しました。

**【活動方針】**

1. 戸田駅を中心とした活動を継続する
2. 「西部道の駅」を拠点とした活動に新たに組み込む
3. 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む
4. 交流・研修・広報活動に取り組む
5. 組織を拡充し拡大する
6. 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する

\* 活動計画については3ページをご覧ください。

総会終了後は、新鮮な海の幸や野菜のバーベキューに舌鼓を打ち、参加者同士の交流を深めました。



総会の風景



バーベキューに舌鼓を打つ参加者

西徳山まちづくりの会では今後、この計画に沿って、住民主体のまちづくり活動を行政と協働しながら進めていきます。



## シリーズ「地元の達人」

# “郷土史の達人”山下恒夫さん

山田家に入ってから、真っ先に目にはいったのが、展示されている手紙です。それは宇右衛門という人から山田某へのものでした。

そして通されたのがあまり広くない資料室のようなところでした。その部屋の書棚には、ぎっしりと周南に関する歴史の本が詰まっていました。

早速、「展示資料の宇右衛門という人は、どういう人ですか。」と質問をすると、山下さんは、水を得た魚のように、「堅田の殿様の8代目です。とても人望がある賢人だったようで、この時代に湯野は大いに栄えたようです。」と話され始めました。

そもそも山下さんが郷土史を紐解かれるきっかけとなったのは、堅田家の12代目で、村長であった堅田少輔の没後50年祭をしようということが、湯野の地区で持ち上がりました。当時新進気鋭の山下さんたちにその実行委員のようなものが向けられ、堅田氏の末裔方に記念のアルバムを作って渡そうということになり、堅田家に関する写真を集めたり、撮ったりされたそうです。そうして歴史に自然と入り込んでいかれたようです。

堅田家に関することでも、いくら時間があっても足りないくらいに、山下さんから次々に興味深いお話を聞くことができました。



(上)同志社の会報に載った弘中又一の肖像画



(右)記念公園の石碑



熱く語る山下さん

私たちが貴重な話に感動していると、話題はここからが本番でした。夏目漱石の小説「坊ちゃん」のモデルである弘中又一のことです。又一は湯野で生まれ、少年期を湯野で過ごします。その後、同志社で学び、英語の先生として松山中学に赴任したとき、漱石と一緒に教鞭をとったということです。その時のことを漱石が小説「坊ちゃん」に著したようです。山下さんの話は軽快に続きます。

当時、松山中学でモデルとなった先生方から、「漱石は、われわれのことを面白おかしく書いて飯の種にしている。けしからん。」という声が上がりました。それに対して漱石は、「小説にモデルなどいない。坊ちゃんは完全にフィクションだ。」と言い張ったので、弘中又一が「坊ちゃん」のモデルということは封印されていたそうです。

山下さんたちは、又一がモデルだということを徹底的に調べられました。時には松山まで呼び出されて、その根拠を示せとまで言われたこともありましたが、あらゆる手がかりや資料を基に、「弘中又一は漱石の小説坊ちゃんのモデルである。」という動かぬものを作り上げられました。そして、弘中又一の記念公園をも作るにいたったのです。その石碑には「学問は王道なり」と刻印されています。山下さんたちの熱い心を讃えなければなりません。

最後に山下さんは、「このようなことを始めて、何かと地区の人たちには寄付など無理なお願いをしましたが、誰かがやらなければならないことだと思って続けています。」と仰いました。

山下さんの郷土に関する知識や集められた資料を伝承していき、今後のまちづくりの一助にしていけたらと思いました。  
(神本記)



# 『平成24年度活動計画』…素晴らしい西徳山を目指して！！

## 目標1 戸田駅を中心とした活動を継続する

活動項目	具 体 的 内 容
①西徳山の玄関口である戸田駅を「花の駅」として整備する	・戸田駅を花で飾る…花をもっと増やす、桜の苗木を植える、ミニ公園を整備する ・地下道の壁を花の絵で飾る ・花の駅に相応しい戸田駅に改装する…屋根の塗り替えをJRに強く要望する ・「湯戸飛夜いけいけだより」で「花の駅」を積極的にPRする
②直売所「ゆーとぴや」の建物の有効利用を考える	・地域の活性化に役立つユニークな利用方法を考え、市に提案する ・いけいけフェスタに代わる収入源を探す。 ・「西徳山まちづくりの会」のNPO法人化を検討する
③戸田駅前でイベントを開催する	・従来通り「いけいけフェスタ」を戸田駅前で開催する ・直売所「ゆーとぴや」のイベントに合わせミニコンサートを開催する

## 目標2 「西部道の駅」を拠点とした活動に新たに取り組む

活動項目	具 体 的 内 容
①「戸田駅」～「西部道の駅」～「湯野温泉」を結ぶ観光ルートを整備する	・シャトルバスを企画する ・夜市川沿いにウォーキングコースを整備する
②惣菜工房「ひとめぼれ♡」の活動を支援する	

## 目標3 西徳山の発展を目指した新たな活動に取り組む

活動項目	具 体 的 内 容
①“観光資源”“自然環境”を活かした活動を目指す	・西徳山3地区の歴史・観光・史跡を紹介したMAPをつくる(3ヵ年計画) ・地元の有名人を探し「湯戸飛夜いけいけだより」で紹介する
②“花の駅”を出発点＆ゴールにしたウォーキングコースを整備する	・「てくてくウォーク」のコースを更に増やす ・コースのMAPや案内板をつくる ・会員増強と合わせ一般の人へ参加を呼びかける

## 目標4 交流・研修・広報活動に取り組む

- ①研修旅行、見学会を定期開催する
- ②セミナー、交流会を企画開催する
- ③「湯戸飛夜いけいけだより」を定期発行する(カラー印刷を検討する)

## 目標5 組織を拡充し拡大する

- ①広報・フェスタ・ウォーキングなどを積極的に活用して会員を増やす

## 目標6 他の諸団体と連携し効果的な活動を展開する

- ①西徳山のお他組織と連携して活動する
- ②行政との連携を検討し提案する
- ③他団体との連携を検討する





## 西徳山まちづくりの会

### 編集後記

金環日蝕、惑星蝕(金星が太陽の前を横切る)などは私たちに大宇宙に対する興味を呼び起こしてくれます。思えば地球という星と太陽や月、他の星との奇跡的な絶妙のバランスによって私たち人類、いや生物が存在しているのでしょう。地軸が傾いていることで私たちの国には四季という豊かな自然を恵んでくれます。

パスカルはその著書「パンセ」の中で、人々の行動はすべて自己愛に起因すると書いています。あらゆる動きが、自分がかわいいといういわば利己主義で行われるというのです。その結果争いが起こったりします。現在のような文明の発展も自己愛によるものだというのでしょうか。

宇宙に思いをはせるとき、原発などの文明を生んだこの自己愛の塊の人間が、なんとちっぽけに見えてくるのでしょうか。しかし、私たちはこの奇跡の地球に住んでいることを思い、生命の大切さをしっかりと認識し、自然の恵みに感謝しなければならぬのです。

編集長 神本康雅

### 発行責任者

会 長 酒井昭子

広報部長 石田真理子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

www.nishi-tokuyama.gn.to

## 戸田駅を拠点にしたウォーキング 「第3回てくてくウォーク」に参加して



ゴールデンウィーク最終日の5月6日に、「第3回てくてくウォーク」に参加する。心配された夜来の雨も上がり、上々のウォーク日和となる。

集合場所となった戸田駅前には、三々五々の人ばかり。前回参加して知り合った顔見知りや一緒に歩く仲間の顔が、「お早よう」「雨が上がってよかったね」と自然にほころぶ。

今回は、不思議伝説「夜市の七不思議」めぐり。10時、さあ出発だ。国道2号の裏にある小路を抜けて、「金水、銀水の池」や「連理の椿」の探訪へ。地元に住む俄かごしらえの道案内が声を弾ませる。そのガイドの笑顔と声は心にやさしい。俄かに、夜市の不思議伝説がよみがえりそうだ。



若山の二の丸跡で

七不思議の最後は、伊賀の普春寺。観音堂につながる石畳から、藤かずらをみると花がちょうど見頃である。私には、そのかずらは大きな蛇には見えない。言い伝えによると、蛇に見えないのは変な邪心がないとのこと。61歳のおじさんは、年甲斐もなく一人ニヤツとする。少し小腹は空いたが、そのまま夜市側から一気に加勢に若山の頂上を目指す。

途中、休みなしの登山道はきつい。ここを駆けたであろう、陶晴賢に思いをはせる。天を突くような竹林から初夏を想わせる木漏れ日が、「頑張れ。頑張れ。」と背中を押してくれた。

やっと、若山城跡へ辿り着く。額から流れる汗をふきながら、愛情込めて握られた、あったかいお弁当をほおぼる。下界の眺望が一段と映えて見える。

下山は車道に従い福川に降り、夜市川沿いにそれこそ「てくてく」歩いて、2時半過ぎに戸田駅へ。

この「てくてくウォーク」は、私にはすべてちょうどいい。みんなの、仲間の笑顔を思い出しながら、次の開催が待ち遠しくなる。

(光清さん 記)



厳しい上り坂も  
なんのその

## お知らせ

### 西徳山まちづくりの会の全体会

原則として毎月第1と第3火曜日の19:30から、夜市公民館で開催します。興味のある方は遠慮なくご参加ください。

### 西徳山いけいけフェスタ開催について(予告)

今年のいけいけフェスタは10月7日(日)に開催します。ボランティアスタッフを募集しますので、是非参加ください。